

# — 住学協同への実験 —

## 筑豊ゼミ研究会報 11月号

NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター・筑豊ゼミ研究会報第5号 2013年11月10日

### 11月例会 11月20日(水)午後7時～9時

受付(独楽研究会)は1201教室(一番奥の教室)で行います。インフォメーション(連絡事項)等を、最初に行いますので、受付後午後7時迄1201教室に待機してください。

#### 市民遺産研究会(1201教室):

内野宿から木屋瀬宿までの地図を一覧のもの、地域別のものの2通りを資料として準備。地域別のもは「拡大版」準備。詳細を記入できるようにしているので、担当者が調べたものを地図上に、他地区と共通のルールを設けて作成してゆく。

#### 独楽研究会(1202教室):

煙の不足で空気の流がよく分からなかったので再度調べる。

独楽の形状について調べて話し合う

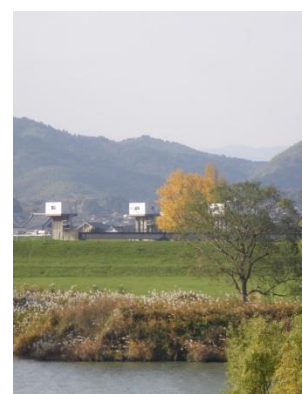
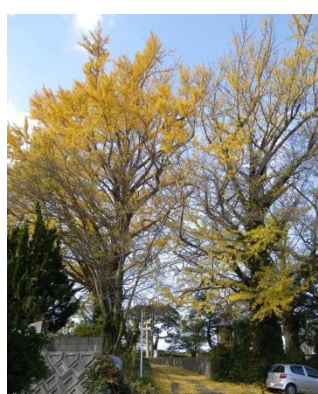
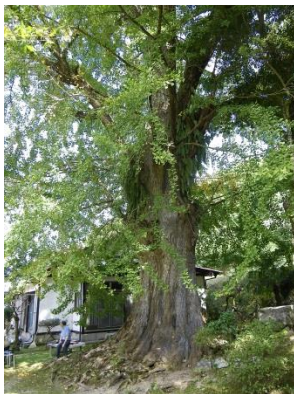
独楽の大きい独楽や船底型の独楽を回してみる。

#### 昭和レトロ研究会(1203教室):

引き続き少しでも多くの資料を集め、充実をはかる。

## 深まる秋 筑豊の大銀杏を巡って見ませんか？

英彦山など紅葉真っ盛りですが、川ヒラタの船頭に目標にされた花の木堰の大銀杏など、筑豊各地に大銀杏があります。深まる秋を黄葉する大銀杏巡りで満喫しませんか？



左より、嘉麻市大力の銀杏、内野蕎麦と大銀杏、木屋瀬宿の大銀杏、木屋瀬宿から見る花の木堰の大銀杏  
その他小竹赤地の天満宮、赤村正福寺など。

# 筑豊ゼミ・研究会報告

## 市民遺産研究会 10月例会報告

市民遺産研究会長

白神 精一

長崎街道班は担当者が各々調査中のものを報告。中でも「長崎街道シリーズ 大里・小倉と筑前六宿」の地図の項目を抜粋(A3に拡大)したものに街道にかかわる名所、旧跡を明示したものがわかりやすいのではないかとこのことで、地図上に内野宿、飯塚宿から小竹、直方、木屋瀬宿までのゆかりの地名、名所旧跡を地図を中心に入れる方法で作成してみる。

長崎街道全体のマップを全員が把握できるように他資料を参考に「街道地図」をオリジナルに作成することにした。【次回までにラフを作成持参】今回は地図の持参を失念。

ゆかりの地、名所旧跡を挿入しスペースの許す限りストーリーをイメージできるエピソードなどを地図上に詳しい内容を掲載することとする。マップを2万5千分の一に統一した各担当者ごとの地図を準備することとした。などを話し合った。

遠賀川研究班は「その季節でなければ体験できない花や祭りをキーワード」に遠賀川流域を語るために、各自手分けして花、紅葉などの自然や祭りに出かけることとした。

## 独楽研究会 10月例会報告

独楽研究会長

笹原 泰史

○世保市の今村ロクロ工芸に見学に行き大名独楽の製作の過程を説明してもらい実際にロクロを回してもらえた。



○独楽の空気の流れを調べる。



線香の下の部分が良く燃えていたので上部より下部に風が強い事がわかる。

○重たい独楽のデータをもっと取ると13分経過後に独楽が揺れるので回転数の測定が正確でなかったことがわかった。

## 昭和レトロ研究会 10月例会報告

昭和レトロ研究会長

末田 明

新しく、直方～田川(彦山)、内野地区の資料も増えたものの、まだまだ数量的には少ないので、各人でより一層の調査取材が必要。

今後の課題として、少し視点を変えて取り組むのも面白いかも知れない。





筑豊ゼミコラム

# 独楽と健康

日本の独楽資料館館長 花元 克巳

独楽の魅力と底力～(心も体も健康、らくらくストレッチ)

江戸時代から多くの人々が学んだ(養生訓)は儒学者、博物学等庶民教育家として有名な貝原益軒が健康で楽しく生きるための体の養生や生活の心得をまとめた指南書。

福岡藩の藩臣の家に生まれ人文科学の面では(黒田家譜、筑前続風土記)が出版されている。幼少の頃は飯塚市八木山に居住されていた、養生訓が世に出て300周年の記念の年、日本三楽独楽の由来も養生訓を参考にして創作された独楽である。

1. 楽独楽＝足、腰、ひざの筋肉をほぐし強くする・・・芝生やじゅうたんの上で行う

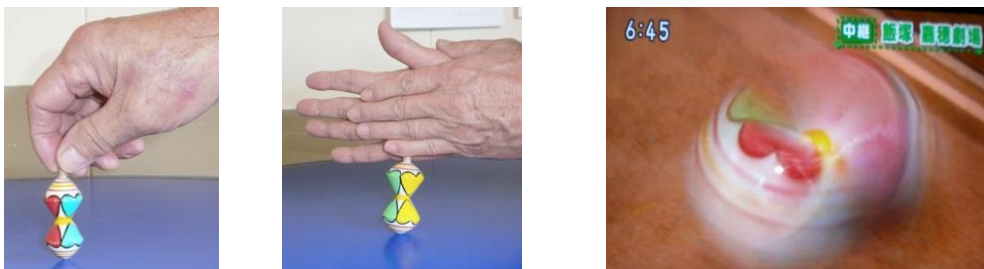


2. 吹きこま＝肺の活力を養う、脳の活力を増す・・・空気の綺麗な所で大きく吸う、長く吐く練習 (下左 2 枚の写真)

3. 大名独楽＝両手の手首、腕の筋肉のストレッチ・・・(右 2 枚の写真)



4. 花独楽＝指、手首のストレッチ



# 情報交差点

筑豊ゼミ：<http://www.chikuzemi.com/>

e-mail：chair@chikuzemi.com(運営委員長)

sec@chikuzemi.com(事務局長)

筑豊地域づくりセンター：<http://www.chikuhou-jugaku.org/>

筑豊ゼミホームページ(<http://www.chikuzemi.com/>)のイベントカレンダーもご覧ください。

## 長崎街道内野宿「宿場のにぎわい」

【開催日】11月15日(金)～17日(日)【場所】内野宿展示館

【シャトルバス運航予定】・桂川駅～内野駅間バス・紅葉名所を循環バス  
内野の郷土料理、黒田藩かかえ大筒、江戸小物フリーマーケットなど

## 画家とパレット～巨匠たちの創作のひみつ～<http://tagawa-net.jp/>

【日時】：11月15日～12月15日【場所】：田川市美術館(〒825-0016 田川市新町11-56)

## 香春神社創建一千三百年祭 <http://tagawa-net.jp/>

【日時】：11月23日(土)～24日(日)【場所】：香春神社【駐車場】：香春小学校横 東社宅跡

23日(土)：10:00～式典、石碑除幕式 13:00～高千穂神楽奉納 15:00～御神輿巡幸

24日(日)：10:00～我鹿太鼓奉納、演舞他 14:00～御神輿巡業 15:00～御神輿巡幸

## 霊験寺(釘抜き地藏尊) 秋の大祭

一年の願いが叶ったお礼参りとして開催。境内や参道には出店も並びます。

【日時】：11月23日(土)～25日(月)【場所】：霊験寺 中有木お地藏さんの駅

## 麻生大浦荘 紅葉特別公開

【日時】：11月23日(土)～30日(土) 9:30-17:00 【場所】：飯塚市立岩1060

【入館料】 無料※雨天時庭園立ち入り禁止になります。

NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター第9回例会(平成25年度第2回)

### 官兵衛 in 筑豊 part2～黒田官兵衛と飯塚～(報告)

講師：嶋田光一氏(飯塚市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課長)

とき：平成25年10月28日(月)午後6時～ ところ：飯塚市市民交流プラザ

平成26年のNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の放映が決定し、福岡県では「軍師官兵衛」福岡プロジェクト協議会が設立され、県内外に広くPR活動が行われている。飯塚市でも、官民一体となり、ゆかりの地PRに取り組んでいることなどについて資料(年表等)を基に、大きく二つの項目に分けて話が進んだ。

### (1) 黒田官兵衛について

・戦国時代から江戸前期にかけての武将・大名で、福岡52万石の礎を築いた人物で「天才軍師」と称されている。

黒田孝高が初名で成長して官兵衛、剃髪して如水となっている。

播磨・姫路時代(～42歳) 豊前・中津時代(42歳～55歳)で、慶長2年(1600)関ヶ原の戦いに際し徳川家康に味方し戦功によって筑前一国を与えられた。

・筑前、福岡時代(55歳～59歳)

慶長5年(1600)12月8日筑前に入国。飯塚太養院に宿泊。

同6年福崎の地を福岡と改称し、ここに城郭の建設を開始した。福岡城築城の良材を求めて馬敷西光寺に宿泊「如水円清」法号を与えられた。

・軍師として、文化人としての官兵衛

豊臣政権の伸長とともに成長した典型的な豊臣取立て大名であるが、内政より軍事に長じ、もっぱら軍師としてすぐれた能力を発揮した。

・茶の湯と連歌(文化人)

秀吉に茶会に招かれて、もっぱら軍事を相談することがあり、軍事の出来るのも茶の効用の一つと教えられて、茶の稽古を始めたという。

福岡城が完成するまでの2年間太宰府天満宮で起居、連歌の会を催している。

### (2) 黒田官兵衛と飯塚

・飯塚太養院(飯塚市本町)に宿泊

・貝原益軒『黒田家譜』卷十三、『筑前国風土記』、『嘉穂郡誌』、『筑穂町誌』、『筑前町村書上帳』

以上の資料に黒田官兵衛の歴史的足跡が記されている。

飯塚市歴史資料館では、10月24日から12月3日まで黒田官兵衛企画展が開催されている。

官兵衛part3を期待し「ゆかりの地」を巡ってみたいものである。

(第26期・筑豊ゼミ 市民遺産研究会 小林 道男)

発行：NPO法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター 第26期筑豊ゼミ

責任者：第26期筑豊ゼミ運営委員長 菊川 清

編集者：第26期筑豊ゼミ運営委員会事務局長 小林 道男

住所：〒820-8555 飯塚市柏の森11-6 近畿大学産業理工学部気付 第26期筑豊ゼミ

連絡先：090-9485-5985(菊川) 090-5746-4574(小林)

e-mail：chair@chikuzemi.com(運営委員長) sec@chikuzemi.com(事務局長)